

ビフェナゼート水和剤 マイトコーネフロアブル	取扱メーカー： 日産 原体メーカー： アリスタ LS
成分： ビフェナゼート〔PRTR・1種〕……………20.0%	性状： 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 各種ハダニ類やミカンサビダニに対して優れた効果を示す。
- 成虫及び幼虫に対する活性が高い。
- 有用昆虫や天敵に対して実用濃度でほとんど影響がないことが確認されている。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 使用前には必ず容器をよく振る。
- 散布は年1回とし、作用性の異なる他の薬剤との輪番で使用する（抵抗性発達回避）。
- 植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布する。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布ムラのないように丁寧に散布する。
- もものモモサビダニに対して使用する場合、多発生では効果が劣ることがあるので注意する。
- 散布量は栽培作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びビフェナゼート を含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	ミカンサビダニ ミカンハダニ	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	7日前まで	1回	散布
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	1000倍		前日まで		
なし	ハダニ類	1000～ 1500倍				
もも	モモサビダニ	1000倍				
ネクタリン 小粒核果類	ハダニ類	1000～ 1500倍				
いちじく		1000倍		前日まで		

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用はさける。
- 茶に使用する場合、遮光する栽培とは茶を被覆するすべての栽培方法を指すので注意する。
- 食用ミニバラに初めて使用する場合及び新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効、薬害を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。
- 適用作物（なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 蚕に対して影響があるので周辺の桑葉にはかからないように注意する。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びビフェナゼート を含む農薬の総使用回数	使用方法
お う と う	ハダニ類	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	1 回	散布
ぶ ど う	ブドウサビダニ	1000倍		21日前まで		
あけび(果実)	ハダニ類			7日前まで		
か き		1000～ 1500倍				
マンゴー アテモヤ		1000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	2 回以内	
いちご						
すいか メロン きゅうり なす ピーマン						
トマト ミニトマト	ハダニ類 トマトサビダニ					
アスパラガス	ハダニ類	100～ 500 ℓ	3 日前まで			
さといも やまのいも かんしょ						
しそ科葉菜類 (えごま(莢)を除く) しそ(花穂)		1500 倍				
食用ミニバラ		1000 倍	前日まで			
しょうゆほおずき	1500 倍					
みょうが (花穂)	ハダニ類	100～ 300 ℓ		みょうが(花穂) の収穫前日ま で 但し、花 穂を収穫しな い場合にあって は開花期終了 まで	1 回	散布，但し花穂の 発生期にはマルチ フィルム被覆によ り散布液が直接花 穂に飛散しない状 態で使用する。
みょうが (茎葉)	1000 倍					
さんしょう(葉)	1500 倍	14 日前まで				
茶	カンザワハダニ チャノナガサビダニ	1000 倍	200～ 400 ℓ	摘採14日前まで 但し、遮光する 栽培では遮光開 始14日前まで	1 回	散布
きく	ナミハダニ		100～ 300 ℓ	開花前まで		
りんどう げつきつ	ハダニ類			発生初期		